

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		保護者数(利用児童数)		回収数(回収率)	
こばんはうすさくら江戸川台西教室		令和7年11月20日		24 (26)		22 (91.7%)	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2			近くの公園遊びもあって楽しそうです	外遊びがある分、身体を動かす活動も多くあるため、事故や怪我のリスクも高まります。庭や公園での活動の時間は、特に職員配置に配慮して、気を付けていきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1		2	保護者からは不足を感じませんが、職員の皆さんのお忙しさが不明なため	国の配置基準に沿って職員を配置しています。引き続き定期的な研修会や勉強会等の開催を続け、職員の教育に力を入れていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			1	絵カードや、表示がわかりやすくなっていると思います。	引き続きわかりやすい絵をつけた表示や、室内の掲示物等利用児に合わせた環境作りを心掛けていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				いつも綺麗にしていると思います	毎日の清掃、週ごとの清掃等、チェックリストを用いて、抜けがないよう、清掃をしています。また感染症の流行期には、毎日使ったおもちゃや絵本等の消毒作業もしていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1		定期的に職員の研修や勉強会を行っています。また、日々の振り返りでは、子どもたちの様子から課題や成長面を共有し、特性に対してどう支援を行っていくのか共通理解を持てるようにしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22				毎日楽しいプログラムがあり、楽しく通っています。	引き続き5領域に沿った支援プログラムを組んで提供していきたいと思います。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1			子どものことをよく見ていただいていると思います	引き続き本人と保護者の方の困りごとを解決し、その子の力が伸ばせるような支援計画を作成していきたいと思います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2				ガイドラインを基に、支援計画を作成しています。また、支援計画の内容が職員と共有できるよう、ミーティングや、朝礼、昼礼、終礼での確認をし、途中で支援計画変更の必要が出た場合は、都度変更、修正していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1				個々の発達に合わせ、無理のない、有益な療育ができるよう計画しています。個別支援計画を職員全員が理解した上での療育ができるよう、各自支援計画の確認をすることはもちろん、朝礼、昼礼での共有をしていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1	毎日いろいろな活動ができています	プログラムは、その季節に合わせた活動を心掛け、食育では、旬のものを取り入れるよう、工夫をしています。イベントや行事等は、曜日に偏りがないよう、各曜日の利用児が楽しめるよう、計画していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	5	2	6		現在、他の幼稚園等と関わる機会を計画することができていません。近隣でもまだコロナやインフルエンザ等の感染が出ている状況ですので、もう少し状況が改善した後、今後の課題として検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				とても分かりやすかった	契約時に児童発達支援管理責任者が書面をお渡ししつつ、説明をさせていただいています。その後も、利用者負担額等が変わった時には、書面を作成しなおし、都度ご説明していきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1				保護者様にわかりやすいよう、支援計画を示しながら説明をさせていただいています。計画作成時だけでなく、必要があれば、都度ご説明させていただきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	8	2	3	参加したことはない	悩み等があれば、電話や面談でご相談に応じています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1			田児の話をまとめて短く説明して終わらせる先生もいるので雰囲気があまり掴めなかったり質問できる時間がなかったりする。送迎の時に子供の様子を教えてくれるので安心よく話します	送迎時は時間を取ってのお話ができないため、気になることがある場合は、職員と連携しつつ、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。また、モニタリング時に限らず、ご希望があれば、都度お電話でのご相談や面談をさせていただきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22				いつも相談に乗っていただいています。	半年に一度のモニタリング時の他、心配事があった場合等、都度お電話や面談をさせていただきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1				支援計画を中心に、ご家族や子どもたちの想いを大切に支援できるよう、振り返りやミーティングで情報の共有や職員間の共通理解を図っています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	3	12	なくても十分です	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたいと思っています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21				1	いつも相談に乗っていただきありがたいです。	保護者様からご連絡をいただいた事項等は、連絡票に記載する習慣をつけ、ミーティング等で職員間の情報共有をしており、対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1				心配事などがあれば、いつでもお電話や面談などでお伺いします。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22					写真付きで様子が分かるので嬉しい	「こぼんはうさくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しています。「こぼん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きでご紹介しています。今後も、様子がわかるような配信をしたいと思っています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21				1		個人情報の取り扱いについては、職員研修等で指導しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1			1	書面作成しお渡ししています。避難訓練の様子も、こぼん通信等でご紹介していきたいと思っています。また、遠足で防災センターに行く予定です。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22					避難訓練してくれて大変ありがたいです	定期的に避難訓練をプログラムに入れています。利用児もスムーズに動けるようになってきているので、引き続き、指導していきたいと思っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22						安全計画についても施設内に掲示されています。保護者の方にも、おたよりや通信を通じて、計画や実施報告を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21				1		怪我の程度に合わせて、送迎前にお電話や、送迎時に口頭で状況と対応を説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22						不安感のある保護者の方、子どもたちには、丁寧に聞き取りを行い、原因を取り除けるようにしています。今後も安心して通える環境づくりをしていきたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	4				とても楽しみにしています こぼんの日のは張り切っています	楽しみながら療育に繋がるようなプログラムを計画していきます。曜日ごとに偏りがなく、バランスの良いプログラムを心がけています。また、個々の発達に合わせ、無理のない、有益な療育ができるよう、心がけていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22					友達と遊ぶ時のルールや、遊びの方法などたくさん学んできて、家でも同じようにしています。 満足しています、ありがとうございます。	今後もご満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携し、療育をしていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和7年11月20日
こばんはうすさくら江戸川台西教室							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・基準を満たしており、指導訓練室と庭もあり、工夫した空間となっている。 ・活動内容に合わせて使用している。 ・十分なスペースを確保している。	・死角となる場所があるので、常に目がとどくように注視している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・1対1対応が必要であったりと、適切な配置数となっている。 ・余裕を持って支援することが出来ている。 ・余裕を持った配置をしている。個別対応の子にも、しっかりと対応している。 ・子どもに合わせて、必要な子には1対1もしくはそれ以上で対応している。	・体調不良時などの不測の事態に対応できるように連絡体制を整えたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・場所や1日の流れ、月日など工夫してわかりやすく表示されている。 ・絵カードを使用したり、場所の表示にイラストを使っている。 ・子どもの発達に合わせて、絵カード等を表示するなどの工夫をしている。 ・見てわかるように、絵カードやラミネートを表示している。 ・危険がないようにロックや仕切りをしている。	・表示が取れかかっていないか、危険なところがないか日々整備する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日の掃除や活動前の確認など、過ごしやすく安全な場になるようにしている。 ・消毒する物品のリストを活用して、管理している。 ・日々の掃除、環境整備などリスト化し、支援前にチェックしている。	・熱中症の心配などもあるので、室温についての注意と、エアコンの清掃管理が必要だと思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個の空間を作れるよう、パーティション等で工夫して環境を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・毎日の朝礼、昼礼・終礼での振り返りなどを実施している。	・シフトにより終礼に参加できない職員へのフォローをしていく必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・HUGで行い、HPに公開されている。 ・ガイドラインアンケートを実施している。	・毎年アンケートを職員で共有し、改善につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・定期的に職員面談を行っている。ミーティングなどの機会がある。	・日々の朝礼昼礼でも意見交換をしており、年に1回アンケートを行い、職員で共有し、改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・外部の方に評価してもらっている。 ・本部の訪問が定期的にあり、指導を受けている。	・指導内容は職員全員で共有し、改善していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・ミーティングを行った際、研修を受ける機会がある。 ・研修を受けに行く機会と、その報告を行う機会がある。 ・定期的に研修を行った方が、他の職員にフィードバックされている。 ・社内勉強会の他、本部研修、市や外部の研修にも積極的に参加している。	・一度に全員が集まるのが難しい場合、複数回に分けて開催する。 ・職員の意向と適性を踏まえ、外部の研修にも参加する機会を積極的につくる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・保護者に向け、お知らせをしたり毎月内容が更新されたりしている。 ・月間のプログラムがあり、公表されている。		

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、指導員等の意見を取り入れられるよう、聞き取りシートを書いている。 ・職員の見解も踏まえて計画が作成されている。 ・児童発達支援管理責任者が作成した支援計画に設定されている。一人ひとりの発達段階、課題に合わせ支援ができるよう共有している。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関わる職員の意見等を、モニタリング前に聞き、シートに記入している。 ・児童発達支援管理責任者が保護者の面談と、直接支援している職員からの聞き取りを基に計画を作成し、職員に共有している。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイルにプリントアウトした計画が共有されている。 ・各個人ファイルに入っていて、職員が閲覧出来るようになっている。 	・支援計画が更新された際には職員に報告し、確認してもらうようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの実際の様子を見て、作成している。 ・どちらも確認している。 	・日々の行動観察の視点を職員間で共有していきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どの項目もねらいに沿って設定され、具体的な支援内容が記載されている。 ・項目に沿って支援計画が作られている。保護者の要望も聞き取りながら作成されている。 ・一人ひとりの発達段階、課題に合わせ支援ができるよう共有している。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムに沿って、その日のチームで内容を共有したり、意見を出して決めている。 ・細かい内容を職員間で話し合っている。 ・日常の支援での振り返りを基に立案している。 ・児童発達支援管理責任者と管理者を中心に、支援員と相談しながら立案、準備運営を行っている。 	・全員の意見を取り入れるのには工夫が必要だと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月や曜日など、固定せず様々なプログラムを経験できるようにしている。 ・年間を通して、曜日でかたまることなく、プログラムを計画している。 ・季節に合ったプログラム、曜日をずらすなど工夫されている。 ・同じプログラムでも曜日を変えたり、発達段階によって内容を変えたりしている。 	・同じ活動プログラムでも取り組み方法や内容を工夫していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別と集団とバランス良く取り入れて、支援を行っている。 ・運動遊びとプリントなど、集団と個別のもの組み合わせなど工夫している。 ・発達段階などに応じ、個人の目標、集団での目標を決め、計画している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の流れ、子どもの様子など、朝礼、昼礼、振り返りで確認し、役割分担などを確認し、チームで連携した支援ができるようにしている。 	・途中から入る職員がいる場合は、支援リーダーのもと確認する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行って、子どもの様子を共有し、支援改善に繋げている。 ・終礼を必ず行っている。振り返りノートを活用し、その日出勤していない職員にも共有している。 	・途中であがった職員やその日入っていない職員も、日報や振り返りノートは必ず確認する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りノートに記録を取り、他の職員も共有できるようにしている。次 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が行っている。 ・決められた期間で作っている。 	・半年に1度モニタリングの他、必要があればそれ以外でも見直しを行ってきたい。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・児童発達管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・児童発達管理責任者が、保育園や幼稚園などと情報共有を行い、連携して支援を行っている。 ・電話等で連携している。 ・保護者の方を介して、医療機関との情報を連携して取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・児童発達管理責任者が行い、情報共有と相互理解を図っている。 ・電話等で情報共有を行い、共通した支援ができるようにしている。	・お互いに、取り入れられること、対応が難しい点など環境を踏まえたうえでの理解や協力体制をつくっていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・児童発達管理責任者が、就学時連携シートを書いている。 ・就学時に、情報共有のための資料を作成している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8	0	・必要に応じて、児童発達管理責任者が中心で行っている。 ・保護者や保育所を通して連携を図っている。 ・センターの担当者と連絡したり、保護者や保育園を通して連携している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・法人内の教室間での交流の機会を設けている。 ・系列の他事業所と合同で行う行事があり、いつもと違う子たちともかかわる機会を設けている。	・外部との交流はあまりない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時に伝えたり、HUGや電話などで児童発達管理責任者が伝えている。 ・電話相談やHUGシステムのチャットを活用し、共通理解を持っている。	・送迎時に長い時間は話せないで、児童発達管理責任者から連絡するようにしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	・現在は、市での実施がないため、児童発達管理責任者がフォローしている。	・現時点では行っていないが、今後行っていきたいと考えている。 ・全体での会を、今後計画していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に説明したり、玄関に掲示したりしている ・教室内に掲示してあると共に、その都度説明もしている。 ・書面を作成のうえご説明している。	・体制が変わった時にも、都度ご説明するようにする。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者の意見と子どもの様子、それぞれの視点から見て作成している。 ・聞き取りシートに保護者の要望や意見を聞き取る項目がある。 ・児童発達管理責任者が面談し、ご意向を確認した上で作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・児童発達管理責任者が、計画を見せて、読み上げて同意を得たうえで、サインをいただいている。	・デジタル化したので、アプリの操作方法など丁寧に説明をしていきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・必要に応じて助言と支援を発管が行っている。 ・モニタリング以外でもHUGシステムを通じて、ご連絡いただいており、適宜対応している。	・児発管が対応後、迅速に職員に共有できるようにしていきたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		・父母の会はないが、保護者同士の交流会は、今後行っていきたいと考えている。 ・現状は感染症が流行してからは行っていない。状況を見ながら保護者の交流会を検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・児童発達管理責任者が対応している。 ・チャット機能を使えるようになり、以前より気軽にご連絡いただけるようになったと思う。対応記録をとり、職員に共有している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・HUGを通じて様子を伝えられるように発信している。 ・教室での様子を、写真を添えて月に一度発信している。	・写真掲載については同意いただいた児童のみとし、そのほか個人情報の扱いに注意したい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・キャビネットに鍵をかけたり、裏紙などに個人情報がのっていないか、確認をしている。 ・キャビネットに施錠、シュレッダーで破棄している。 ・定期的なミーティングで取り扱いについて確認を行っている。個人情報の持ち出しは禁止されている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・形に残るようにメモやHUGにしたり、言葉だけでなく電話したりと配慮している。 ・書面にするなどわかりやすい工夫をしている。 ・保護者にチャットでご連絡したり、送迎時にコミュニケーションを取っている。絵カードを利用するなど、わかりやすきところをけている。	・どのように、どんな内容を伝えたいのか、職員間で共有していくようにしたい。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		・機会があれば行いたい。 ・児童の安全や感染症の危険があり、開催は難しいと感じる。いい方法があれば検討したい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・避難訓練を行ったり、マニュアルはいつでも見られるように工夫している。 ・各マニュアルがあり、周知できるようにしている。 ・避難訓練を定期的に行っている。避難経路なども貼り出している。 ・マニュアルは事務所のわかりやすいところに掲示している。訓練は定期的に行い、内容の記録や反省点を話し合いをしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・BCP計画を策定し、持ち出し用にすぐに誰でもわかるように工夫されている。 ・作成、訓練を行っている。繰り返し実施し、子どもたちにも身に付き始めている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・契約時に事前に確認をして、職員に周知している。 ・契約時に確認している。対応方法も職員に周知している。 ・年に1度、情報の確認と更新をお願いしている。	・特別に気を付けることがある子に関しては、一覧表を作ることを考えたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・契約時に確認し、アレルギーのある子どもが分かりやすいように工夫されている。 ・おやつはアレルギーのある子用のカードを作って、ダブルチェックをし、ミスのないようにしている。	・契約後からアレルギーが増えたりしていないか、モニタリング時にも確認していくようにしたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・計画を作成し、安全管理を行っている。危険なものはないか等、日頃から気を付けている。 ・児童発達管理責任者の指示のもと、日々点検を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・避難場所を共有したり、1年に1度、緊急連絡先を確認してもらい連携している。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを共有して、内容を検討し、防止に努めている。 ・ヒヤリハットがあった時は、記録を残し、方策を共有できるようにしている。 	・個々でヒヤリハット案件と判断する度合いが違うので、小さなことでも出来事として共有するようにする。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修を受ける機会がある。 ・ミーティングがあったり、代表者が外部研修に参加している。 ・年に1、2回の研修、都度ミーティングを行っている。 ・年に2回はチェックシートを用い、防止に努めている。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に説明し、支援計画に記載し、サインをもらっている。 ・丁寧に説明し、同意を得ている。 	・記載内容に変更があった場合に職員に必ず伝えていくようにする。